

# 日置川水系安川

十年ほど前に、生まれ育った東京から和歌山県に移住した。理由は、紀伊半島には美しい水⇨淡水があるからだ。水が美しいということは、森、川、海が連続した1つの環境としてきちんと成立しているということの意味している。そのどこかひとつでも機能しなくなると、水循環はたちどころに滞る。紀伊半島は多雨であることや、河床勾配が急であることなどから、透明度が高く美しい川が少なくない。私が近年出版した本や、製作に携わったテレビ番組などは、そうした美しい水環

境を舞台にしたものが多い。

水と空気はタダ、といわれた時代は終わった。飲み水になる水⇨淡水は、今や世界的にも減少の著しい貴重な資源であると認識されるようになった。幸いにも我が国は水が豊かであり、その質も高い。そして、その中でも和歌山県の水の豊かさ、美しさは格別である。美しい水は和歌山県の財産といっても過言ではないだろう。私は、いつまでも水の美しい和歌山県であってほしいと思う。

(写真・文 内山りゅう)

## Photo Essay

### わかやま百景

Ryu Uchiyama

1962年東京生まれ。写真家。“水”に関わる生物とその環境の撮影をライフワークとしている。1999年より和歌山県白浜町在住。主な写真集に「アユ」(平凡社)、「大山椒魚」(ビプロス)、「いきものアート・シリーズ全6巻」(ジュリアン)他があり、主な著書に「田んぼの生き物図鑑」(山と溪谷社)、「水の名前」(平凡社)など多数がある。テレビ番組の企画、出演も多い。

公式ホームページ <http://uchiyamaryu.com>

